

# 自己実現 2021

兵庫県立神戸高等学校 進路指導部

〔高校最後の定期考査が始まります〕

73 回生のみなさんにとって、最後の定期(期末)考査が始まります。焦るのではなく、できること、わかることをひとつでも増やすことが大切な時期です。しっかり準備してせっかく勉強したことを漏らすことのないように、一つ一つ丁寧に自分のものとしていきましょう。

〔第 5 回実力考査答案返却及び個人成績票の返却 (12/16(水) 予定) について〕

第 5 回実力考査の各教科の採点答案が返却されました。各回の実力考査にはそれぞれ意味があり、その時期ごとのみなさんの学力の到達度を測るとともに、みなさんの学力を引き上げるためのものでした。今回の実力考査は、国公立大学前期日程の約 3 か月前に実施したものであり、その結果です。何度も繰り返しますが勝負はこれからです。これ以降の 3 か月間にひとりひとりの状況は大きく変化し、同じ順位(成績)の人でも合否が分かれることが多々あります。また、逆転現象もあります。この結果は目安であって絶対的なものではなく、本当の意味での「実力」はまだ進化の途中であるということを肝に命じてください。

〔A %・B %成績について〕

3 年生の実力考査は総合成績を「A %成績」・「B %成績」という数値で表示しています。第 4 回実力考査は、業者模試(ベネッセ・駿台記述模試)を利用して実施しましたが、第 5 回実力考査では、「A %成績」を算出するための各教科・科目の数値は、校内実力考査(第 5 回)とマーク模試(全統マーク模試)の平均値を用いています。一方、「B %成績」を算出するための各教科・科目の得点は、校内実力考査(第 5 回)のみを用いています。「A %成績」は 5 教科(文系：国・英・数・地歴公民・理科、理系：国・英・数・地歴 or 公民・理科 2 科目)、「B %成績」が 3 教科(文系：国・英・数、理系：英・数・理科 2 科目)という点は他の回と共通です。合否追跡調査に用いる総合成績は、第 3 ～ 5 回の各科目の平均値を算出し、その数値を「A %成績」・「B %成績」の算出式に代入しています。

〔第 5 回実力考査教科・科目別講評〕

〈国語〉 平均点 74.3/200 点 (文系：83.3, 理系：65.5, 総理：86.4)

■現代文分野 38.5/100 点 (文 40.3, 理 35.6, 総 45.4)

■古典分野 36.7/100 点 (文 48.0, 理 29.7, 総 41.0)

中間考査後からは演習中心の授業となった。その成果が感じられる結果だっただろうか。手応えを感じた人も、そうでなかった人も、点数のみに一喜一憂することなく自己分析の材料としてしっかり見直しをしてほしい。

【一】 評論 22.8/60 点 [38.0%] (文 24.2, 理 21.0, 総 26.4)

【二】 小説 15.8/40 点 [39.5%] (文 16.1, 理 14.8, 総 19.0)

【三】 古文 19.1/60 点 [31.8%] (文 24.8, 理 15.1, 総 20.3)

【四】 漢文 16.6/40 点 [41.5%] (文 18.2, 理 14.6, 総 20.6)

現代文分野では、記述答案が問いに対する答えになっていないことが最も気になる。設問が何を求めているかをきちんと読み取り、前後の文脈をおさえて解答を組み立てる。これができていないことによる粗雑な答案が多い。このように言うと、自分は、国語は共通テストだけ、二次の記述試験はないし…、という声が聞こえてきそうだが、マーク形式出題でも解法のプロ

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現 2021』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校 HP でも閲覧できます。

セスは実は同じ。紛らわしい選択肢を見きわめるには、設問が何を問うているのかを踏まえ傍線部前後の文脈を読み取ることである。

**古典分野**は、意識的に基本的知識の定着をみる設問を増やしたが、その分大きく得点差がついたと感じる。6～7割以上得点できている人もいる一方で、ごく基本的な文法・古語、句法も定着していない人がいる。答案返却時に配布した解説プリントはすでに熟読していることと思うが、解説でふれた文法・古語・句法等はもう一度確認し、今すぐマスターしてしまおう。授業の共通テスト対策演習でも、読解問題以上に、知識問題での失点が目立つ。今一度、基礎基本の確認を心がけてほしい。

**〈英語〉 <筆記> 学年全体(200 点満点) 平均点 76.1 点**  
**<リスニング> 学年全体(100 点満点) 平均点 66.2 点**

今回は、最後の実力考査ということで、難易度が高くなっている。前回までは、長文3問、文法、英作文であったが、和訳問題の短めの長文を追加して、長文が4問になった。そのため、時間がさらに足りないと感じた生徒も多かったかもしれない。国公立大学の二次試験を見ると、長文読解問題が配点の多くを占めている。「時間が足りない」と感じないためにも、今後、より多くの長文に触れていく必要がある。長文を制するものは合否を制すると言っても過言ではないかもしれない。

単語力・熟語力がまだまだ足りていない生徒が多いと感じる。それも、基本レベル～中レベルの単語・熟語の意味を取り違っている生徒が多い。長文の中で繰り返し同じ単語に出会い、意味を取ることを通して、単語は定着していく。ぜひ単語帳と長文読解を同時に進めて欲しい。

英作文においては(自由英作文、和文英訳ともに)基本的な表現をミスなく使えるかどうかの結果を左右する。出題者は受験生が難解な英語を使えるかどうかを見たいのではない。あくまでも基本表現をマスターしているかどうかを知りたいのである。難易度の高い表現に手を出すのではなく、使い慣れた表現、自信のある熟語を使って英作文をすべきである。何度も手で書いて練習することが英作文上達のコツである。

**〈数学〉平均点は、文系 55.9/200 点、理系 68.3/200 点(総合理学科 101.8/200 点)**

最後の実力考査が終わりました。3年生になってからの実力考査については、複数回にわたり、様々なタイプの問題に触れて欲しいという観点で出題してきました。もう一度復習をしてください。なぜそう考えて、解答していくのかを理解することにより、幅広い対応力をつけてください。記述に関してはまだ改善の余地があります。詳解を見直して、正しい記述を身につけましょう。定型の言い回しなどを身につけるのも、隙のない記述をする上で大切なことです。

計算に関しては、まだまだミスが目立ちます。これを改善するためには練習あるのみ。解答を見て理解するだけでなく、自分の手を動かして解くということを怠らず、取り組んで欲しいと思います。今後共通テストに目が行くと思いますが記述問題も取り込んでいくこともお忘れなく！

**〈物理〉**

力学分野(大問1)、電磁気学分野(大問2)および波動分野(大問4)は、立式や計算の正確さ(テクニカルな部分)を要した。熱力学分野(大問3)は問題文を十分に読み込んだうえでの正確な現象理解が求められた。前回(第3回実力考査)に比べて、答案の解答率は格段に上がっている。あとは、正確に解答する力を身につけるために、問題を解く際には次の二点を意識してほしい。①制限時間を設けて解く。②求めた量や数式が妥当であるか(現象と一致するか)を検討する。やればやるだけ伸びていく。最後まで思考することを諦めず、もがくこと。

**〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉 <ご意見・ご質問をお寄せください>**

『自己実現 2021』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校 HP でも閲覧できます。

|       | 得点率 [%] |      |      |      | 平均点  |
|-------|---------|------|------|------|------|
|       | ①       | ②    | ③    | ④    |      |
| 全体    | 47.5    | 50.7 | 40.3 | 35.3 | 44.1 |
| 普通科   | 45.7    | 47.1 | 33.6 | 32.2 | 39.5 |
| 総合理学科 | 57.4    | 65.5 | 61.4 | 52.5 | 59.8 |

## 〈化学〉

これまでの実力考査では、一部共通テストを意識したマーク問題を出題していたが、今回は、理論＋無機分野 2 題、有機分野 1 題、高分子化合物分野 1 題、と多くの大学の二次試験同様、全分野から出題した。①高得点を予想していた金属イオンの分離の問題は、授業で実験をしたにも関わらず、コロナ期間の分野であるため演習がまだ少ないのか、正答率が低かった。オキソ酸も含め、無機化合物の分野は得点源になることもあるため、基本的事項は確実にしておきたい。②頻出の平衡分野については、前回の緩衝液に続き、多段階電離を出題した。こちらも正答率が著しく低く、授業の演習でも行ったが、やり直しをして類題に対応できるようにしてほしい。③有機化学の構造決定問題は、有機の演習が出来ているかどうかで正答率が二分した。難解大においても理論分野よりも、比較的取り組みやすい問題が多い有機分野の構造決定問題はぜひ得点源にしてほしい。④現役生と浪人生の違いが大きく出る、高分子化合物の分野。演習不足となりがちだが、こちらは共通テストにはあまり難問は見られないため、共通テスト後の二次対策でしっかりと励んでほしい。まずは期末考査が終われば、共通テストで 8 割を安定して取れることを目指して、基本事項を大切に復習しましょう。思考力を要する問題が増えているため、二次試験対策が共通テスト対策に繋がります。2 科目の選択理科のうち、少なくともどちらかは自分の強みになるよう、演習に励みましょうね。

## 〈生物〉

第 1 問は選択式の問題でしたが、複数の選択肢を選ぶ問題は、どれとどれが対になっているかを良く見極め正解を探しましょう。第 2 問の神経系の問題では、基本となる伝導の仕組み、伝達の仕組みに加え、興奮性のニューロンだけでなく抑制性のニューロンについても、実験系の中でどのような振る舞いをするか、興奮の時間的加重と空間的加重についてもグラフの中身を理解しておきましょう。第 3 問は神経系と動物の行動の問題ですが、膝蓋腱反射については定番の記述です。時間をかけずに解答できるように。行動の実験考察問題は生物の行動を決める要因をとらえ、1 つの要因以外を排除するにはどのような実験系を構築すれば良いか考えてみましょう。第 4 問の家系図から判断する突然変異については難題ですが、進化の考え方も加えてどの細胞で起こるか推察ができると思います。実際の 2 次試験では、今回出題した問題のように分野が融合した問題も多く出題されます。共通テストが終わったら、基礎の範囲も含め復習をしておきましょう。今回の平均は約 50 点と予想したとおりでしたが、決して簡単な問題ではありませんので確実に力がついてきている手応えを感じています。しかし、ある程度理解ができているのに論述問題がどうも得点にならない人も多くいると思います。核となる重要な内容が欠けていたり、正確な記述でなかったりすることにより得点となりません。共通テストが終わってから論述問題に対応できる演習を積みましょう。まずは共通テストで、今まで取り組んできたことの整理を行いましょう。

**〈世界史〉平均 44.8点(マーク29.3/60点 記述15.5/40点) 最高点：94点**

今回の考査では、論述問題が必要な2次試験を意識し、共通テストを意識した正誤問題は60点分とし、一問一答式問題及び論述問題を40点分出題した。マークシート問題は平均50%近くとれており、少しずつ知識量の定着がはかれている。ただ、年代整序問題6問の正答率が25%と低いのが気がりである。歴史事象を時代や世紀と関連づけて理解して欲しい。そのためには教科書をよく読み流れをつかむこと。論述問題の正答率平均は32.5%。8割以上書けていたのは2人だけだった。今一度教科書の精読を行い、歴史の流れと因果関係を確認して欲しい。

**〈日本史〉平均 49.3点**

全分野、特に政治史を中心に出题しました。今回はその中でも、共通テストで出題されるであろう日本史の基礎知識に資料(史料)から読み取る力が必要な問題を多数出題しました。前回の実力テストに比べて、一問一答形式の問題は正答率が上がっていますが、史料から読み取る正誤問題の正答率は低かったです。受験生が最も苦手な問題だと思います。逆にその問題の正答率が上がれば、高得点が期待できます。史料から読み取る正誤問題は時間をかけてじっくり読めば史料に答えが書いていることが多いので、慣れれば逆に間違えることはありません。共通テストに向けて繰り返し問題演習をやっていくことが必要です。期末考査後の授業では共通テスト直前演習をやります。また、国公立大学二次問題で論述がある生徒はあわせて二次対策も必要です。

希望者は個別に添削指導もするので、必要な生徒は申し出てください。

**〈地理〉平均 37.5点**

今回は共通テストの形式から離れて、150字、200字の論述問題(国公立2次対策)、長文の穴埋め問題、記述問題を出しました。論述問題は全く対応できていませんでした。論述問題を入試で使う生徒はほとんどいませんが、これは問題を解くためには習得しておいて、損のない問題だと私は考えます。基本的な事象の把握が出来ていない人、字数の半分もかけない人もいました。授業中に再度問題を提示し、論述の基本を教えました。国公立2次対策をしないといけなくなった活用してください。私学入試と共通テストは全く違う傾向です。こちらの対策をしなければならぬ人はこの形式にも慣れてください。暗記しなければならないことはこの時期少しずつ始めてください。

**〔冬休み前中の教室利用について〕**

この時期は、3年生のみが特別な動きをすることが多くなるので、他学年への配慮をしつつトラブルのないよう学習活動(自習)を行ってください。

- ・12/14(月)～23(水)：特別授業期間(3年生のみ午前中授業)：時間帯 3限終了後～18:00
- ・12/26(土)午後～17:00, 1/4, 5, 6, 7 時間帯 8:20～16:40：自習場所：進路資料室・指示教室

【注意】①平日の下校時刻(17:00)までであっても、三者面談のためHR教室の利用はできません。

- ②特別編成授業中の午後は、1・2年生は授業、3年生は三者面談を行っています。廊下、食堂等で音(私語を含む)を一切出さないよう十分注意してください。

- ③土日祝日および12/28～1/3は登校しないでください。

〔後記〕受験とは何のためにするのか?「志望校に入学するため。」もちろんそれもあります。しかし何よりも**試練を体験し、困難に挑戦し、その壁を乗り越える力を体得すること**が最も大切なことだと思います。受験を通してその「力」と「自信」を手に入れることが一番の目的です。受験を通して成長できた人は、将来社会に出たときに必ず直面するさらに大きく困難な壁も乗り越えていくことができるはず。人生の壁の前にしてどう行動するかでその人の真価がわかります。大志を実現してくれることを期待しています。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉 〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現2021』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。